令和5年度 課の運営方針書

環境生活部 リサイクル推進課

1 課の運営方針

【課の使命】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に則った一般廃棄物の適正な処理(分別・収集運搬・処分)を実施するとともに、市民・事業者・行政が協働して、ごみの発生抑制・再 使用・再資源化(3R)を推進することにより、循環型社会の形成を目指します。

【課の目標】

①ごみの発生抑制·再使用·再資源化(3R)のさらなる推進

255,092 千円

- 市民・事業者・行政及び関係団体などのあらゆる主体が、ごみの発生抑制などに協働して取り組むことにより、持続可能な社会の実現に向け、3Rの推進を図ります。 また、「ごみの分別方法」の冊子を改訂し、全戸配布することで適正なごみの分別の周知を図ります。
- ②「環境館」を核とした意識啓発の推進

環境館での処理施設見学やリサイクルの体験講座、再生品の展示など、来館者への3R推進、海洋プラスチックごみ問題やエシカル消費に対する意識啓発を行うとともに、市民が主体となった3R推進活動の交流拠点として事業展開を進めます。

③ごみ処理施設の適正な管理運営

リサイクルプラザペガサスを始めとした各所管施設の適正な維持管理と安定的・効率的な運営を行います。特に、リサイクルプラザペガサスについては施設の今後の方向性を検討するため、これまでの稼働状況等の検証を行います。また、平成30年度末に埋立終了した周南市不燃物処分場については、廃止に向け環境測定を継続して実施するなど適正に管理します。

④DX化による市民サービスの向上

DXの推進により、従来、電話予約のみの受付だった粗大ごみの申込について、ウェブでの予約及びキャッシュレス決済を導入するほか、家庭ごみ搬入受付センターの電話及びウェブでの予約受付を併せて実施し、交通渋滞や待ち時間の緩和に向けて利用者の利便性の向上に取り組みます。

【行財政改革への取組み】

- ●業務スケジュールの共有化を進め、計画的かつ効率的に業務ができる環境整備を図ります。
- ●粗大ごみ予約システムを導入し、ウェブからの受付にすることで窓口や電話対応に係る業務負担を軽減します。
- ●家庭ごみ搬入受付センター予約システムの導入により、来場者の分散を図ることで業務負担を軽減します。
- 2 担当(係)の使命(果たす役割)

(リサイクル担当):一般廃棄物の処理計画の立案及び進捗管理を行うとともに、一般廃棄物の減量化及び再資源化の推進に係る事業を効率的に展開します。

(施設担当) :リサイクルプラザ、家庭ごみ搬入受付センター、不燃物処分場及びその他廃棄物処理施設の管理運営を適正に行います。

(収集担当) :一般廃棄物の収集運搬業務を効率的に実施するとともに、不法投棄廃棄物の発生抑制の啓発と回収処理の助言指導を行います。

- 3 課の経営資源
- (1)課の体制

会計年度 会計年度 人件費 職員数 46 人 正職員 30 人 16 人 正職員 213,090 千円 うち 37,086 千円 任用職員 仟用職員 ※R3職員平均給与(7.103 千円)ベース ※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額

歳出予算額 2,897,237 千円 (正職員人件費を除く) 担当予算事業数 15 事業

環境生活部 リサイクル推進課

4 課の中期目標(優先順) 第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果 (最終目標)
1	8 環境共生 1 低炭素・循環型社会の実現 4 3Rの推進と廃棄物の適正処理	市民・事業者・行政及び関係団体が協働して、ごみの発生抑制・再使用・再資源化に取り組み、ごみの減量化と再資源化を促進します。(市民一人一日当たりのごみの排出量 令和5年度目標:663g、リサイクル率 令和5年度目標:34.0%、最終処分量 令和5年度目標:2,862t) また、ごみ処理経費の削減を図るとともに、ごみ処理施設等の適正な維持管理と効率的な運営を行います。
2	8 環境共生 1 低炭素・循環型社会の実現 3 環境教育・啓発の推進	環境館を啓発活動の拠点として、体験を通じた啓発や情報発信による啓発を推進していくとともに、市内環境衛生推進団体の活動を支援し、連携した取り組みを展開します。 (環境館利用者数 令和5年度目標:4,800人、クリーンリーダー設置率 令和5年度目標:100%)